



2017年1月6日

各位

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。新年にあたり、ご挨拶を申し上げます。

株主の皆様におかれましては、日頃より厚いご支援を下さり誠にありがとうございます。2016年は、販売活動、臨床開発やグループの体制強化等において数々の大きな成果を得ることができ、当社にとって記念すべき年となりました。

当社の中核となる医薬品であるアイスーリュイについては、連結子会社である北京コンチネント薬業有限公司（北京コンチネント）が、前年比 50%の売上増加を達成する見込みです。主な要因としては、昨年下半年に実施した直接販売体制への移行が挙げられます。この新営業チームが、中国市場においてこれまで以上の数の IPF 患者の方々にアイスーリュイをお届けすることで、本年も引き続き売上成長を拡大すると予想しております。

開発パイプラインの進展についても、当社の将来に有望な結果をもたらさるう数々の重要な成果を得ました。昨年3月、当社グループは、F351の米国における治験許可（IND）申請を米国食品医薬品局（FDA）に対して行いました。これは当社グループの米国における初の治験申請となります。当社は、米国FDAに要請された当IND申請を補完する追加的なデータを本年上半期にも提出する予定です。第3四半期には、アイスーリュイの二つのIND申請に対して、中国国家食品薬品監督管理総局（CFDA）から新たに承認を得ました。具体的に申し上げますと、まず一つ目は糖尿病腎症（DN）の第2相臨床試験開始の承認、そして二つ目は結合組織疾患を伴う間質性肺疾患（CTD-ILD）の2つの適応症である全身性強皮症（強皮症）及び皮膚筋炎についての第3相臨床試験開始の承認です。この新たな最終ステージの治験許可承認により、既承認薬であるアイスーリュイの新たな適応症に注力し、加速度的な新薬開発を行うという当社の戦略の有効性が実証されました。

さらに、当社では、昨年、主要子会社への出資比率を増加させることで、グループ体制を一層強化しました。6月には、北京コンチネントへの出資比率を53%に増加し、10月には資本出資によりGNI-EPS (HONG KONG) HOLDINGS LIMITED への持株比率を69.52%に増加することを発表しました。また、北京コンチネントは、アイスーリュイの今後見込まれる需要拡大に備え、河北省滄州渤海新区生物産業園にアイスーリュイの医薬品原薬の製造設備建設のための土地を追加的に購入しました。

当社の高い業績が評価され、昨年12月には、デロイト トウシュ トーマツ リミテッド主催の第15回「アジア太平洋地域テクノロジー Fast 500」において、直近3決算期の成長率454%を記録し、119位を受賞いたしました。

2017年の展望についてですが、私はGNIグループの一層の発展を楽しみにしております。

世界経済の見通しは不透明な状況ですが、当社の中核事業であるヘルスケア業界は持続的な成長と安定性を示しております。当社は、アイスーリュイをより多くの患者様に届けることを目標に、今年早い段階で実施される予定の中国医療保険改革の動きについても注視していく所存です。それに加え、本年は、当社初の導入品であるタミバロテンの承認と、F351の米国IND申請の実現についても期待を寄せております。

最後になりましたが、本年が皆様にとって実り多く、健康で幸せな一年となりますよう心から祈念いたします。

取締役代表執行役社長兼CEO
イン・ルオ